

第2回飯能市精明地区ひとり歩きやさしい声かけ訓練

～徘徊模擬訓練～

平成30年12月8日(土)午前9時15分～午後12時30分

【午前9時15分 開会】

精明地区行政センター(精明公民館)にて、開会式と事業説明を行いました。訓練に出発する前に、実行委員でもある作業療法士の方の寸劇をみて、認知症等の方への声掛け方法を学びました。

今回の訓練には市内たくさんの地域から参加者が集まったほか、精明地区にある学校法人大川学園から生徒と教員の方も参加され、総勢88人での訓練となりました。自己紹介後、グループに分かれて訓練に出発です！

★認知症の方への声かけの基本★

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



参加をされた方には“3つのない”を意識して、実際に声かけを行っていただきます！徘徊役は、緑色のゼッケンをつけ、グループが来るのを待ちます。



【午前10時10分 訓練開始】

『何も持たず、不安そうに迷っている』

道を歩いていると、寂しそうに遠くを見つめる方に出会いました。声をかけると「どこかにいこうと思って出てきたのだけれど、どうしていいかわからなくなってしまった」と言っています。優しく声かけを続けていると、住んでいるところは秋田だと話を始めました。ご本人の住所がわかるものや、家族の連絡先が記載されているものは身につけていそうにありません。終始不安な様子で、口数も少ない方のため、近くの地区行政センターに助けを求めることにしました。判断に迷ったときは「声かけをしない」のではなく、ぜひ周りの方にも助けを求め、勇気をもって声かけをしてみてください。



『手がかりになるものを身に付け迷っている』

道を歩いていると、足元がスリッパのままの方に出会いました。どこか施設から出てきてしまったのか…心配に思い、声をかけます。自己紹介をしつつ、相手の方と落ち着いて話ができるように優しく話を続けます。スリッパを見せてもらうと、「特別養護老人ホーム夢馬」と、施設の電話番号が書いてあるようです。このままではどこまでも歩き続けてしまいそうなので、施設に連絡をしてみることにしました。認知症などで迷っている人をよく観察してみると、何かヒントを持っているかもしれません。連絡先などの記載がある場合は、連絡ができると早期発見に繋がります。相手を驚かせないように見つけてみてください。



『連絡先の記載がある物を身に付け迷っている』

杖をつき、きょろきょろしながら歩いている方に出会いました。「こんにちは、どこまでお出かけですか？」と声をかけてみると、マミーマートまで歩いて買い物に行く途中と話し始めます。近所のお店ではないので、家の場所等を話しているうちに、杖にお出かけ見守りシールを発見しました。家の場所もあいまいだったため、市役所に電話をし、シールの番号を伝えました。寒い日だったので、家族が迎えに来るまで行政センターで一緒に待つことにしました。お出かけ見守りシールの登録者名簿は、飯能市役所と飯能警察署で保管をしているので、シールをつけた方が困っていたら、ご連絡をお願いします。



★お出かけ見守りシール★

ここに番号が書いてあります！

「疲れたと座り込んでしまっている」

ウォーキング中、道端に座り込んでいる人を見つけました。話しかけてみると、どうやら疲れて歩けなくなってしまったようです。声かけを続けながら、少し話をしてみることにしました。昔の話や近所の話をしていると、住んでいる場所やお名前を覚えてもらうことができました。しかし、歩けないため一緒に歩いて送ることは難しそうです。ケガはしていないため、警察に助けを求めることになりました。優しく声かけをしながら、警察の到着を待ちました。日頃から、地域にどんな機関があるか、またその機関の連絡先を知っていることはとても大切なことです。場所だけではなく、連絡先等も携帯電話に登録しておくとか何かのときに助けになるはずですよ。



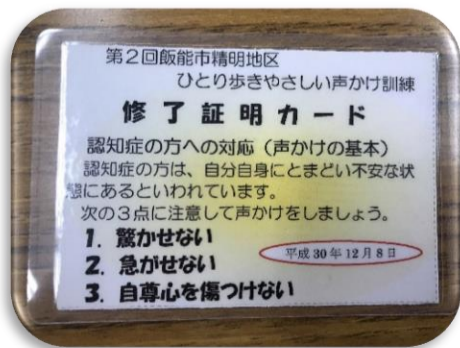
【グループワーク・訓練の振り返り】

訓練を終え、班ごとにグループワークを行いました。精明地区まちづくり推進委員会と母子愛育精明支部の方が中心となり、温かい豚汁を用意しておいてくださいました。グループワークでは、徘徊役も混ざり、実際に声かけを体験した感想を共有しました。訓練を通して、これからの生活で心がけたいことや必要だと思うことについても話し、全員での感想の共有もしました。日頃からあいさつや声かけをすることを心がけたいという意見が多くでした。また、地域で優しく支援が必要な方を見守りたいという意見もいただきました。

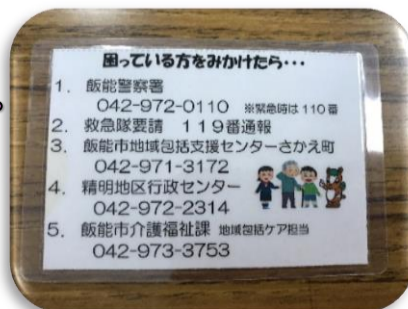
【午後 12 時 30 分 閉会】

★訓練を終えた参加者の感想★

- ・声かけの難しさを感じた。しかし、訓練を通じて認知症の方を理解して対応することの必要性を強く感じた。
- ・常に相手の気持ちになって話すことが大事であると思った。
- ・近所同士仲良くなり、情報をオープンにできる地域になるとよい。地域全体で見守りたい。
- ・解決を急ぎすぎてしまった。自分の思い込みで解決を進めるのではなく、声かけを通して解決をしていきたい。
- ・普段からあいさつがある地域だと、声がかかりやすい。
- ・普段の声かけが大事だとわかったので、積極的に声かけをしようと思う。
- ・判断に迷ったとき、頼れる機関がたくさんあることを知ることができた。
- ・声をかける勇気を持った。
- ・相手に落ち着いてもらうために、自分が落ち着いて対応をする。相手をよく観察し、ヒントを見つけることが大切。
- ・声かけのポイントは知識として大切だが、大切なのはコミュニケーション力。認知症だからと、あまり気負わずコミュニケーションを取りたい。



裏返すと...



訓練を受けていただいた方には、修了証明カードをお渡ししています！カードタイプでお財布にもしまえる大きさなので、もし地域で困っている方を見かけたらぜひ活用してみてください！
※開催地域ごとに連絡先を変更しています。

訓練に興味がある方、自分の地域でも開催したいと考えている方は、お近くの地域包括支援センターまたは、下記担当までお問合せください。

飯能市健康福祉部介護福祉課 地域包括ケア担当 042-973-3753(直通)